

取組方針 I - 2 複合一貫輸送機能の強化

具体施策 I - 2 - ①

次世代高規格フェリー・RORO ターミナルの形成



フェリー・RORO 船によるシームレス輸送の効率性向上や、トラックドライバーの不足及び労働時間規制による輸送ニーズに対応するため、「次世代高規格フェリー・RORO ターミナルの形成」を図ります。

- 自動運航船舶と連携した自動離着岸装置や、ターミナル内横持ち自動運転等の導入を促進します。
- 新門司地区において、フェリー荷捌き地を拡張するとともに、関東・関西方面や東アジア方面との間を結ぶフェリー・RORO 航路の就航状況等を踏まえ、ターミナルを整備します。
- 響灘西地区において、沖縄・日本海側方面との間を結ぶ RORO 航路の就航状況等を踏まえ、ターミナルを整備します。



出典：国土交通省資料より作成

図 5-7 次世代高規格フェリー・RORO ターミナルのイメージ

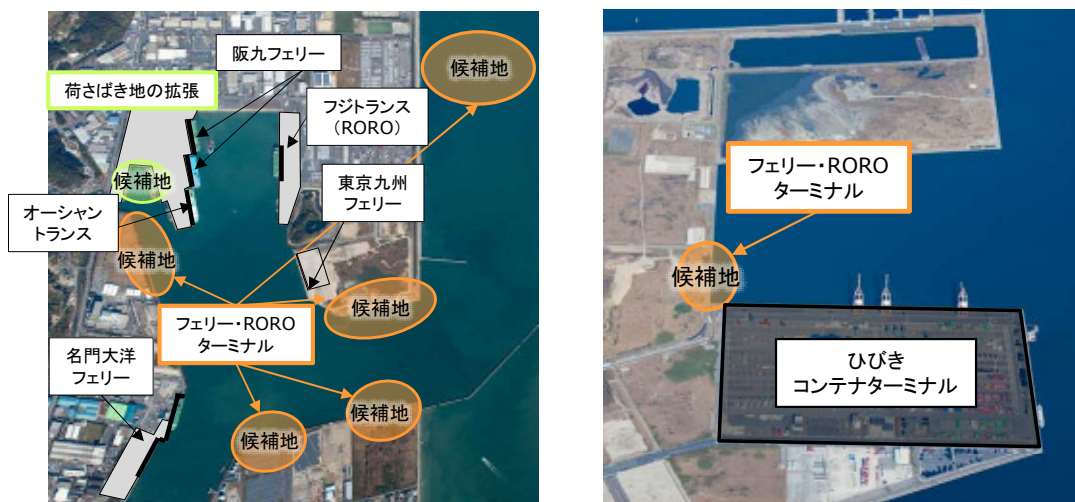


図 5-8 フェリー・RORO ターミナルの整備のイメージ（左：新門司地区 右：響灘西地区）

具体施策 I - 2 - ②

国際自動車輸送拠点の形成



北部九州に集積する自動車産業や海外向け中古車などの輸出の効率性向上のため、内外航の一貫輸送が可能な「国際自動車輸送拠点の形成」を図ります。

➤ 新門司地区及び響灘西地区において、自動車の輸出機能を強化します。



図 5-9 国際自動車輸送拠点のイメージ



図 5-10 国際自動車輸送拠点の整備のイメージ（左：新門司北地区 右：響灘西地区）

具体施策 I-2-3

シー&エア、シー&レールの促進



貨物輸送サービスへの多様なニーズに対応するため、「シー&エア、シー&レールの促進」を図ります。

- 一般道の通行が困難な大型特殊貨物等の輸送に対応するため、海上空港である北九州空港の特長を活かしたシー&エアを促進します。
- 定時性が求められる貨物や危険物貨物等の安全性が求められる貨物輸送に対応するため、北九州貨物ターミナル駅を活用したシー&レールを促進します。



図 5-11 シー&エアのイメージ



図 5-12 シー&レールのイメージ

取組方針 I-3 在来貨物輸送機能の強化

具体施策 I-3-1

国際バルク貨物ターミナルの拡充



外航バルク船の大型化や新規バルク貨物の需要に対応するため、「国際バルク貨物ターミナルの拡充」を図ります。

- 響灘東地区において、船舶大型化や取扱貨物量増加に対応した岸壁を整備します。
- 各地区における在来埠頭において、老朽化した上屋の廃止・岸壁の集約等により埠頭の再編を行います。



図 5-13 バルク岸壁の整備のイメージ

取組方針 I-4 臨海部交通ネットワークの強化

具体施策 I-4-①

アクセス道路の充実



- 臨海部における円滑な物流や企業の立地、福岡県内・東九州・本州方面への背後圏の拡大等に対応するため、臨港道路等の「アクセス道路の充実」を図ります。
- ▶ 主要ターミナルと高速道路 IC 等の間や埠頭の間を結ぶ道路機能を強化します。
 - ▶ 下関北九州道路など、地域間の広域連携強化を支援する道路交通ネットワークを強化します。
 - ▶ 北九州空港において、今後の航空需要の増加に合わせて検討が行われるアクセス鉄道とともに、空港島内における部品の組立・加工施設や物流施設等の集積の促進と、空港島への道路交通のリダンダンシーの確保の観点から、道路機能の強化を検討します。

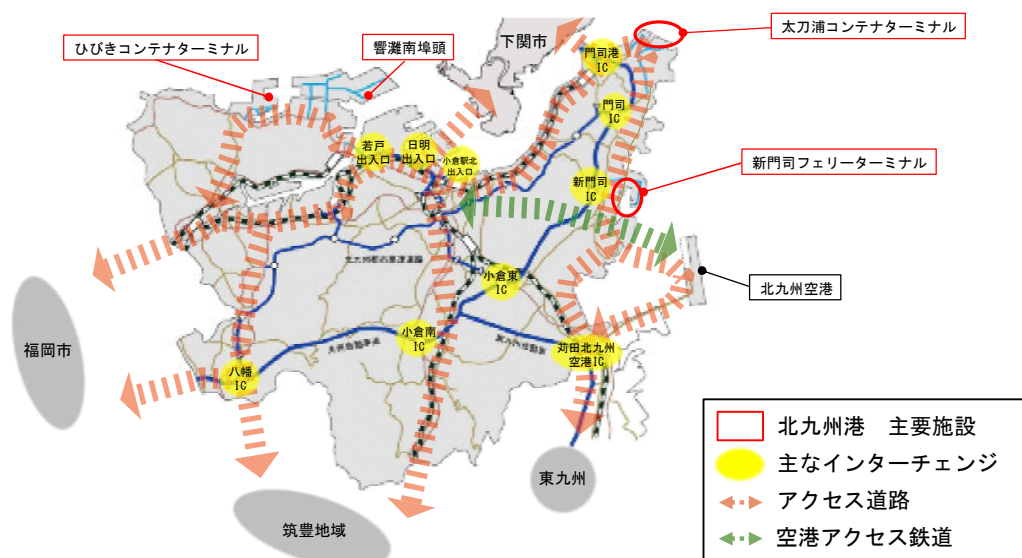


図 5-14 北九州港と背後圏の交通ネットワーク強化のイメージ

取組方針 I-5 先端成長産業や物流産業等の集積

具体施策 I-5-①

産業用地の確保と企業の立地促進



- 雇用の拡大等による地域経済の活性化を図るため、「産業用地の確保と企業の立地促進」を図ります。
- ▶ 海面処分用地や遊休地等を活用した産業用地を確保します。
 - ▶ 産業用地において、充実した物流基盤やその機能強化を背景に企業誘致を行うとともに、支援制度の活用や行政手続き等の支援を行い、物流産業のほか、風力発電関連産業や水素等脱炭素エネルギー関連産業、次世代自動車関連産業、半導体関連産業等の先端成長産業等の集積を促進します。